

【模範解答】

アニメや映画で、相手に疑いの目を持たず、一切の信頼をもって接するワンシーンに心を惹かれたことはないだろうか。ベストセラー漫画『スラムダンク』で、一匹狼の流川楓がライバルの桜木花道を信頼し、シュートを委ねたシーンは人々の心を震わせた。一方で、「儲かる！儲かる！」といった文言だけを看板に掲げ、甘い誘惑をしてくる人に対し、疑いの目を持って接することは肝要であろう。このように、「人を疑う」ことについては賛否両論あるものだが、はたして、医療現場において「人を疑う」ことは大切なのだろうか。

来院する患者の中には、知識量の差から、「医師の方が立場は上だ。言うことを聞こう」と考え、尻込みしてしまう人が一定数いる。また、自身の病気・ケガがあまりにセンシティブな内容であると、医師へ本当のことを伝えるのがためらわれてしまうかもしれない。このように、患者が伝えてくることの中には、本心ではない、言い出せずに隠してしまっているような想いがあるものだ。チーム医療の現場においても、似たことが言える。医療の現場はひっ迫しており、ときに狂気の沙汰で治療・手術に挑んでいることが多い。だからこそ、医師たちは強い疲労感や悩みを抱えていることが多いのだが、「こんなことで根をあげるんじゃない」という自分へのプライドや、「チームに迷惑をかけたくない…」という優しさから、自身の体調・本音を言い出せずにいることもあるだろう。上記2例のように、コミュニケーションの相手方が伝えていることは全てではなく、「その内に秘めた本当の想いがあるかもしれない」と疑ってかかることは重要である。

以上より、医療現場において「人を疑う」ことは、ときに大切になるのではないだろうか。もちろん、对患者であっても、対チーム医療であっても、お互いを信頼しあう関係を構築・維持していくことは重要である。基本は信頼ベースで医療を行いながらも、その人の些細な所作等を汲み取り、適切に対処していくことが望ましい。

(830字)

